

第1学年「読書の楽しさを知ろう！」

「ビブリオバトルの実際」

滑川中学校読書推進活動の一環として、12月16日(木)、県立松山女子高等学校の司書：篠山亜美先生、教諭：江森潤子先生、同校1年生の6名にお願いいただき、「読書の楽しさを知る講義」の受講と「ビブリオバトルの実際」を体験しました。

この取組は、令和3年3月、「滑川町子ども読書活動推進計画」が策定されたことに伴い、本校でも生徒の読書離れに歯止めをかけるとともに読書好きの生徒の育成を図るために実施いたしました。

読書を習慣づけることで、豊かな心を育み、人間としての考え方や生き方を学ぶ大切な機会とするとともに、得た知識を活用し、想像力を膨らませることで、よりよい生き方を考え、生きる上での礎を培えるようにしたいと願っております。

流れは、前半が、ビブリオバトルのルール説明も含めて読書の魅力を、司書の篠山先生に語っていただき、後半は、高校生がおすすめ本について紹介するビブリオバトルの実際を体験しました。

質疑応答を行い、その後、自分が一番興味を持った本や読んでみたい本に投票しました。

年齢の近い、高校生に本の魅力を語ってもらうことで、読書離れが進んでいるといわれる中学生に、本を読むことの楽しさ少しでも多く知ってもらえたと思います。

☆高校生が紹介した本（6冊）

『図書館戦争』・有川浩/著、 『ココロの謎が解ける50の心理実験』・清田予紀/著
『しくじり歴史人物事典』・大石学/著、 『余命10年』・小坂流加/著、
『優しい人には優しい出来事がありますように』・もくもくちゃん/著、
『ツナグ』・辻村深月/著、

